

⑤ 研究協議会

ア 主 催

福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会

イ 期日・会場

(ア) 地区研究協議会 7月下旬 1日間  
県内16会場

(イ) 県研究協議会 9月下旬～10月下旬 2日間  
県内12会場

ウ 参 加 者

国、公、私立の小学校教員

○ 地区研究協議会 9,647名

○ 県研究協議会 1,898名

エ 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(3) 福島県中学校教育研究会

① 目 的

中学校教育において、当面する教育課程の実施に伴う指導上の諸問題について組織的な研究を行い、その結果をもとに研究協議し、中学校教育の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上に資する。

② 研究主題

教科等	研究主題・昭和57年度(第2年次)研究副主題
国 語	国語科の本質に基づいた基礎的・基本的事項の定着を図る指導はどうか。 ○ 確かな理解力を育てるための指導
社 会	社会科における基礎的・基本的内容を定着させるための指導はどうか。 ○ 基礎的・基本的内容を定着させるための指導の工夫と実践
数 学	数学的な考え方や処理能力を身につけさせるためには、どのように指導したらよいか。 ○ 「図形」の領域における数学的な考え方や処理能力を身につけさせるための指導
理 科	自然を調べる能力と態度を育成するための授業はどうか。 ○ 観察・実験におけるデータ処理と考察
音 楽	音楽を愛好する心情を育てる指導は、どうか。 ○ 地域の伝統的音楽文化の教材化とその指導
美 術	生徒の特性を生かし、喜びを持って表現させるには、どのような手だてをするか。 ○ 立体教材における題材と発想
保 健 体 育	進んで身体活動をする能力や、健康で安全な生活をする態度を育てる指導はどのようにしたらよいか。 ○ 絶えず課題意識をもって学習活動をさせる展開の工夫

教科等	研究主題・昭和57年度(第2年次)研究副主題
技術・家庭	実践的・体験的な学習をすすめるための指導法は、どのようにしたらよいか。 ○ 授業過程・形態の工夫
外国語(英語)	基礎的・基本的事項をふまえて「英語での表現力を高めるための言語活動の展開及びその効果的指導」はどうか。 ○ 授業における言語活動の実践と改善
道 徳	道徳実践力を高めるための道徳の指導はどうか。 ○ 道徳実践力を高める授業の充実
特別活動	望ましい集団活動を通して、自主性・自発性を育てる特別活動の指導はどうか。 ○ 望ましい集団活動の実践とその指導

③ 組織及び財政の状況

役職名	氏 名	所 属 校
会 長	永 澤 電四郎	福島市立福島第三中学校
副 会 長	大 友 寛	桑折町立醸芳中学校
	矢 吹 良 雄	小野町立小野中学校
	戸 内 哲 朗	会津若松市立第四中学校
	岡 清 明	原町市立原町第三中学校
監 事	佐久間 寛	三春町立三春中学校
	宮 内 久 義	柳津町立柳津中学校
	小野田 和 郎	小高町立小高中学校
理 事	国 語 樽 井 宗 雄	二本松市立二本松第三中学校
	社 会 大 橋 睦 也	梁川町立梁川中学校
	数 学 橋 谷 田 千代士	福島市立信陵中学校
	理 科 花 澤 繁	福島大学教育学部附属中学校
	音 楽 立 花 和 夫	福島市立渡利中学校
	美 術 渡 辺 辰 吉	須賀川市立第一中学校
	保 健 体 育 鈴 木 仁 徳	湯川町立湯川中学校
	技 術 ・ 家 庭 酒 井 春 雄	月舘町立月舘中学校
	英 語 荒 井 久 吉	福島市立茂庭中学校
	道 徳 村 田 吉 三	福島市立吾妻中学校
特別活動		
事 務 局 長	小 林 四 郎	川俣町立川俣中学校
総 務 部 長	花 澤 繁	福島大学教育学部附属中学校
同 副 部 長	清 矢 秀 昭	福島市立蓬萊中学校
研究調査部長	横 内 直 典	福島市立信夫中学校
同 副 部 長	菅 野 家 作	川俣町立山木屋中学校
刊 行 部 長	荒 川 久 吉	福島市立茂庭中学校
同 副 部 長	嶋 田 二 郎	福島市立立子山中学校
一般会計部長	松 岡 隆	福島市立西信中学校
同 副 部 長	三 瓶 行 夫	福島市立北信中学校
特別会計部長	高 木 広 志	飯野町立飯野中学校
同 副 部 長	塩 谷 公 夫	福島市立岳陽中学校

○ 会 員 数 4,649名

○ 昭和57年度決算額 10,103,326円

上記のうち補助金額 1,630,000円